

# 『地域で高齢者を見守る・支えるしくみ』市民説明会 会議録

(H24.10.10 19:00～ 地域交流センターゆう)

## 出席者

- ・市民 23名
- ・市 善岡市長、高橋市民部長、中村介護福祉課長、山崎介護福祉課長補佐、奥山介護保険係長

## 1. 開 会

山崎介護福祉課長補佐

## 2. 挨拶

市 長 ～ 皆さん、こんばんは、市長の善岡でございます。「地域で高齢者を見守る・支えるしくみ」の市民説明会にお集まりいただきましてありがとうございます。

砂川市では今からご説明しますこのしくみをより具体的に進めるために、12月の議会で条例案を提案したいと考えています。このしくみづくりを検討してきました理由につきましては、地域コミュニティがかつての力を失ってしまっているにもかかわらず、誰もが経験したことのない超高齢社会を迎えようとしている。それに早く対応しなければと、私が市長に就任した昨年にもまず町内会にアンケート調査を実施しました。その結果、住民の高齢化が進んでおり、高齢者の方々が安心して暮らせる地域づくりが最も重要な課題になっていまして、市や町内会、民生委員、包括と連携することで「地域の高齢者を見守る・支えるしくみ」を作りたいと思っています。

そのためにはまず、市役所にこのしくみを担当する部署を新たに設置します。さらに、福祉目的で65歳以上の高齢者の住民基本4情報を社会福祉協議会を通して町内会に提供することで、市、町内会、民生委員そして包括が情報を共有しながら見守り活動をしていきたいと考えています。さらに弱まってしまった地域コミュニティを昔のように戻すことはなかなか難しいと思いますが、もう少し元気になるってほしいということで、地域コミュニティを強化するような事業をしていただく町内会には助成をすることができる制度を来

年度から設けたいと考えています。

本日は、このしくみについて説明をさせていただきますが、皆さんのどのようなご意見でも構いませんのでお聞かせください。本当に実行性のあるしくみにしていきたいと考えています。本日はどうぞよろしくお願い致します。

### 3. DVD上映「独居老人の孤立死」

### 4. 説 明

#### ○説 明

奥山介護保険係長より、資料「地域で高齢者を見守る・支えるしくみ」に基づき説明

### 5. 質 疑

市 民 ～ 私は老人クラブの関係者として本日は出席させていただきました。市から町内会に情報提供をされても町内会によっては役員が高齢化しているなど、新たな取り組みは難しく、現在のままでは名簿を活用し見守りをしていくことは難しい町内会もあると思います。また、町内会に加入していない人に対してはどのような対応をするのですか。

中村介護福祉課長～ 町内会だけでは地域の高齢者全てを見守るのは難しいとのことですが、高齢者の情報を市で一元化し、万が一の時は市に連絡をしていただければ緊急連絡先が分かる、という体制を整えていきたいと考えています。町内会にはこれまでの見守り活動を引き続きお願いしたいと考えていますし、もしもの時には、市に連絡いただければ専門機関に繋ぐ対応をしたいと思います。市や町内会、民生委員、包括と協力してその地域に合った見守りの形をこれから決めていきたいと考えています。また、町内会に加入されていない方への町内会としての対応については、家の様子などをさりげなく見守っていただくことをお願いしたいと思いますし、社会との接点を自ら拒む方に対しては最終的には市や包括が対応したいと思いますが、「地域みんなで暮らしている」という意識を持っていただくためにも市として啓発活動に取り組みたいと考えます。

市長 ～ 私はこれまで市内87町内会の多くの会長さんとお話しをさせていただきました。町内会はそれぞれの地域性や歴史があり、高齢化も進んでいることから、これまでの活動をしていくことが難しくなってきましたし、地域によって活動の状況が異なってきました。そこで市内87町内会が一度にこのしくみを実施することは難しいと思っています。町内会の実状に合わせて無理のない取り組みをお願いしたいと思います。私は市長就任時に市職員に対して率先して地域に出て汗を流してほしい、そして町内会に加入していない職員はぜひ加入してほしいと訓辞をしています。また、町内会への加入を促すチラシを広報すながわに折り込みPRしてきました。今後とも未加入者への取り組みは継続したいと考えています。また、以前は「高齢者への政策が手厚すぎる」とのご指摘をいただいたこともありますが、ここまで高齢化が進んできますと政策の優先順位として、高齢者を中心とした政策としていかなければいけないと考えていますので、よろしく願いいたします。

市民 ～ 今回のお話を聞いた中で感じたことですが、高齢者の見守りをしていくうえで大切な事は、高齢者自身がどうしてほしいのかという高齢者自身の気持ちが大変だと思います。もっと高齢者の意見を取り入れていただければより良いものになっていくと思いました。

市長 ～ 行政がありとあらゆることで市民の皆さんに一方的に「こうします」と決めてしまうと抵抗がありますし、本来であれば高齢者の生の声を聴くことが一番良いと思います。しかし現実的に個々の町内会によって活動の温度差がありますので、同じ取り組みを全ての町内会に一律に求めることは難しいと思っています。そのため、まずこれまでも活発に活動している町内会にモデルとなっていただき、その先進的な取り組みを全ての町内会に伝えていくことで、高齢者を見守る取り組みを全市に広げていきたいと考えています。また、取り組みを全市に広げることによって、高齢者自身の声をその地域の活動に反映していくこともできると思います。

また、このしくみにはボランティアに携わる方々に加わっていただきたいと思っております。例えば配食ボランティアをしていただいている方とお話をしたのですが、高齢者のお宅を訪問した時に偶然倒れている高齢者を発見して対応していただいたケースが結構あるそうです。市長としてそのように熱心にボランティア活動をして

いる皆さんを広く紹介したいですし、その人たちの日々の努力に光を当てるのは行政の役割であると思っています。12月に議会に提案します条例がきっかけとなって、「砂川市は高齢者になっても地域で安心して暮らすことができるまちを目指している」という思いが、市民の皆さんに広がっていくことを市長として期待しています。

質疑応答終了

## 6. 閉 会

山崎介護福祉課長補佐